



©2005 石塚真一小学館

第382号<令和7年(2025年) 2月26日>

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ 特別隊員 島崎 三步 の「山岳通信」

長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報を提供しています。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/index.html>

長野県警察

■オーストラリア大使館の協力で安全スキーを呼びかけ

バックカントリースキーの遭難が相次いでいます。中には日本を訪れた外国人スキーヤーが遭難するケースも起きています。長野県山岳高原観光課(県山岳遭難防止対策協会事務局)では、在日オーストラリア大使館の協力で大使館の SNS のアカウント(X、Instagram、Facebook)を通じて、バックカントリースキーに潜む危険や遭難しないための対策を発信していただきました。下記の URL をご確認ください。

⇒ <https://x.com/AustraliaInJPN/status/1884073922972508265>

⇒ <https://www.instagram.com/p/DFWngczo7ky/>

⇒ <https://www.facebook.com/AustraliaInJPN/posts/>

pfbid0gKbGsagxV2tAvDYrEEaUZasUdvwxw4BqFWQDW1bY9x8AyoABkttiDRy9bxRKNmCl

■外国人向け啓発動画&雪山・バックカントリー安全啓発動画 公開中!



「Ski Safety in NAGANO」

⇒ <https://db.go-nagano.net/en/staying-safe-in-the-backcountry/>

「バックカントリー装備」

⇒ https://www.youtube.com/watch?v=6wSpi_ufRlo

「雪山での危急時に役立つ簡易雪洞」

⇒ <https://www.youtube.com/watch?v=EEnTxQRrieM>

■御嶽山 噴火警戒レベル「2」に引き上げ!

気象庁は、御嶽山で火山性地震が増加し、今後、噴火が発生するおそれがあるとして、1月16日(木)「火口周辺警報」を発表、噴火警戒レベルを「2」(火口周辺規制)に引き上げました。

“地元町村等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、
風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。”

気象庁<<御嶽山の活動状況>> https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/activity_info/312.html

御嶽山火山防災協議会<<木曾御嶽山安全対策情報>> <https://www.ontake-volcano.jp/kisei/>

～信州の山小屋応援・山岳遭難防止対策プロジェクト～

信州の安全登山の推進に御支援を!

【寄付募集サイト】



■先週の山岳遭難発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
2/20 木	焼額山	男	40	死亡	転倒	2人パーティで、スキー場管理区域外を滑走中、転倒し、雪に埋没
2/22 土	南信 大川入山	男	36	無事救出	その他	2人パーティで下山中、滑落し、登山道に戻ることができずに行動不能に
2/22 土	木曾町日義地籍 山吹山	男	60	負傷	転倒	単独 で下山中、凍結した登山道で転倒し、負傷
2/23 日	八ヶ岳連峰 阿弥陀岳	男	48	負傷	滑落	単独 で阿弥陀岳山頂に向けて登山中、バランスを崩して滑落、負傷
2/24 月	中央アルプス 宝剣岳	男 女	27 26	無事救出	その他	2人パーティで宝剣岳山荘付近まで登山したものの、技量不足により、行動不能に
2/24 月	北アルプス 唐松岳	男	34	行方不明	不明	単独 で八方尾根から入山し、行方不明に

■長野県警 山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

先週、長野県内では、6件の山岳遭難が発生しました。

下山中の滑落や転倒による遭難が相次いで発生しています。

遭難して救助要請をしても、市街地の110番通報や救急要請のように数分でパトカーや救急車が現場に到着するわけではありません。数時間、場合によってはその日は現場でビバークをしなければならないケースもあります。

冬山の最大のリスクは「寒さ」です。怪我等で行動不能となった場合、次に考えなければならないのは「どうやって寒さから身を守るか」ということです。

日帰りの予定であっても**最低限、予備の防寒着、簡易シェルター、コンロ、非常食は、必ず携行してください。**

<遭難のリスクを「自分事」として考えて「備え」を整えて入山しましょう！>

■山岳遭難発生状況～令和7年(2025年)1月1日～2月24日

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和7年	27	2	3	9	21	35	14
うち)単独登山	12	1	3	3	5	12	7
令和6年	32	8	0	5	26	39	13
うち)単独登山	10	2	0	0	8	10	2
前年同期比	-5	-6	+3	+4	-5	-4	+1
うち)単独登山	+2	-1	+3	+3	-3	+2	+5

■山域別発生状況～ 令和 7 年(2025 年)1 月 1 日～2 月 24 日

区分	件数	件数 比率	死者	行方 不明	負傷者	無事救出	遭難者 計
北アルプス	槍穂高	0	0%	0	0	0	0
	後立山	7	25.9%	0	1	2	9
	その他	0	0%	0	0	0	0
	計	7	25.9%	0	1	2	9
中央アルプス	2	7.4%	0	0	1	2	3
南アルプス	1	3.7%	0	0	1	0	1
八ヶ岳連峰	3	11.1%	0	0	2	1	3
その他の山岳	14	51.9%	2	2	3	9	16
計	27		2	3	9	21	35

■中央アルプス 駒ヶ岳ロープウェイ千畳敷駅で行った冬山登山啓発活動の様子(2/22)



■態様別発生状況～ 令和7年(2025年)1月1日～2月24日

区分	件数	件数 比率	死者	行方 不明	負傷 者	無事 救出	遭難者 計
転・滑落	3	11.1%	1	0	2	0	3
転倒	8	29.6%	1	0	7	0	8
病気	1	3.7%	0	0	0	1	1
道迷い	8	29.6%	0	0	0	13	13
落石	0	0%	0	0	0	0	0
雪崩	1	3.7%	0	0	0	1	1
落雷	0	0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	0	0%	0	0	0	0	0
不明・他	6	22.2%	0	3	0	6	9
計	27		2	3	9	21	35

■男女別・年齢別発生状況～ 令和7年(2025年)1月1日～2月24日

区分	男性					(人)	女					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	0	2	2	12 38.7%	0	0	0	0	0	3 75.0%	2	15 42.9%
20代	0	0	0	4	4		0	0	0	1	1		5	
30代	0	2	1	3	6		0	0	0	2	2		8	
40代	1	0	3	2	6	11 35.5%	0	0	0	0	0	1 25.0%	6	12 34.3%
50代	0	0	1	4	5		0	0	1	0	1		6	
60代	0	0	3	2	5	8 25.8%	0	0	0	0	0	0 0%	5	8 22.9%
70以上	1	1	0	1	3		0	0	0	0	0		3	
計	2	3	8	18	31		0	0	1	3	4		35	
率	88.6%						11.4%							

* 内容は、長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光スポーツ部山岳高原観光課」までお寄せください。

mt-tourism@pref.nagano.lg.jp

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝